ハンドマイク街頭演説原稿例　政倫審・予算案衆院通過

二〇二四年三月五日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、政治資金集めパーティーの収入をめぐる自民党の派閥ぐるみの裏金づくり問題について、衆議院の政治倫理審査会が開かれ、岸田総理と５人の自民党議員が出席しました。ところが問題の真相究明にはほど遠い結果に終わり、むしろ新年度予算案を強行採決に持ち込むための口実づくりに政治倫理審査会が使われたことがはっきりしました。裏金づくり問題の解明など岸田総理はまったく考えていないことが、このことからもはっきりしたのではないでしょうか。

　そもそも、裏金づくりは政治資金規正法に違反する犯罪行為です。真相究明にはいったい、誰が、何の目的で、いつ裏金づくりを始めたか、その裏金を一体何に使ったのか、明らかにすることが必要です。政治倫理審査会が２日間にわたって開かれましたが、肝心の点は何も明らかにされませんでした。岸田総理は、まったく不十分な自民党の聞き取り調査報告書の内容をなぞるだけ。他の出席者の弁明も、真相を明らかにするものとはなりませんでした。政治倫理審査会でできないのであれば、もっと権限の強い証人喚問をすべきです。関係者を国会に呼んで証人喚問を行い、徹底的に真相究明に取り組むことを、日本共産党は強く求めます。

　ところでみなさん、政治倫理審査会は当初、自民党側がマスコミやメンバー以外の国会議員の傍聴も認めない完全非公開を主張し、開くめどが立ちませんでした。岸田総理が全面公開で出席すると表明したことで開催にこぎつけました。岸田総理の決断をほめる向きもありますが、岸田総理の本当の狙いはどこにあったのでしょうか。制度上、３月２日までに２０２４年度予算案が衆議院を通過すれば、参議院での審議がどんなに長引いても３月末までに予算を成立させることができます。そして政治倫理審査会の１日目が終わった途端、与党は予算案の採決日程の決定を強行しました。これが岸田総理の本当の狙いだと言わざるを得ません。

　こんなことまでして衆議院を通過した予算案は、国民の暮らしをこわし、空前の軍備拡大、それも他国に攻め込むための軍備の大増強を進めるものです。日本共産党は参院での徹底審議を通じ、中身を抜本的に組み替えるために全力をあげます。同時に、裏金づくり問題の解明をこれで終わりにさせるわけにはいきません。日本共産党は衆議院で引き続き、裏金づくり問題の徹底究明に取り組みます。日本共産党へのさらなるご支援、ご協力をよろしくお願いします。

　日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」をこの機会にぜひお読みいただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）